

奈良県のがん死亡率について

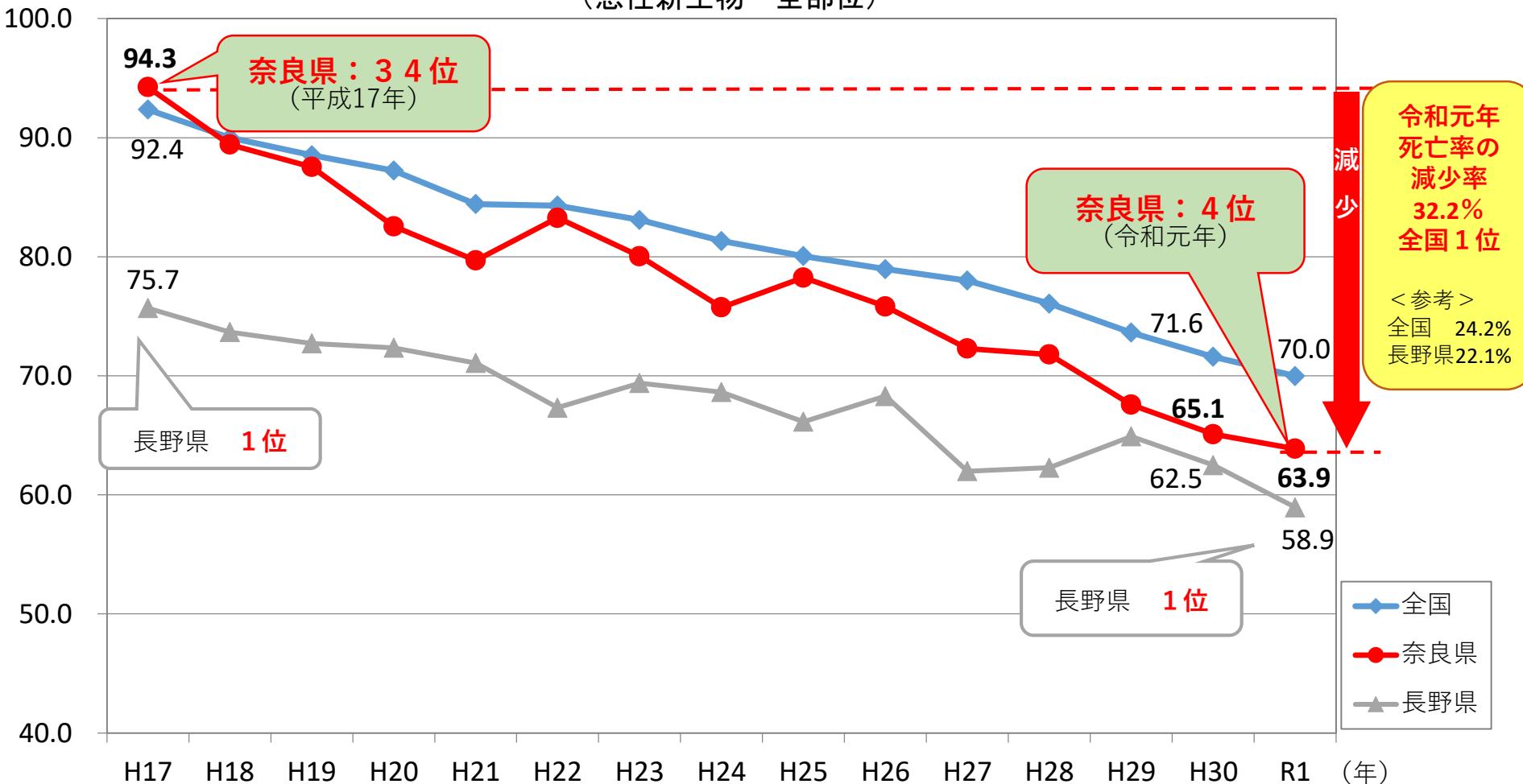
奈良県のがん死亡率は、平成17年は全国34位でしたが、平成30年に4位に改善し、令和元年も同順位を維持しています。

また、平成17年からの減少率を見ると、平成27年以降5年連続で全国1位となっています。

75歳未満年齢調整死亡率の推移

(悪性新生物・全部位)

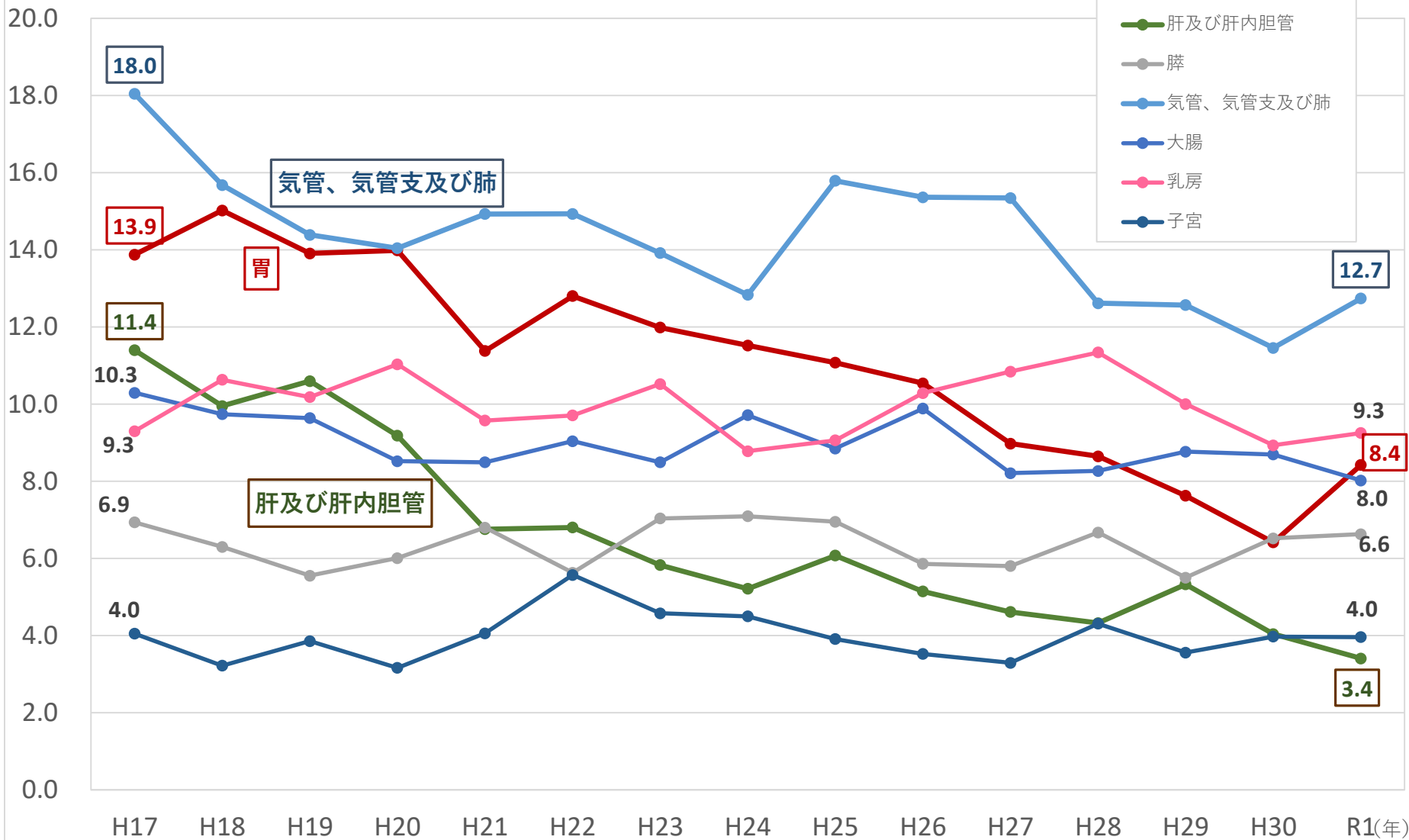
(人口10万対)



年齢調整死亡率とは、死亡数を人口で除した死亡率を比較する際に、各都道府県の住民の年齢構成に差があることから、年齢構成の異なる地域間で死亡状況が比較できるように年齢構成を調整した死亡率を「年齢調整死亡率」という。基準人口として、国内では通例、「昭和60年(1985年)モデル人口」(昭和60年人口をベースに作られた仮想人口モデル)を用いて人口10万対で表す。

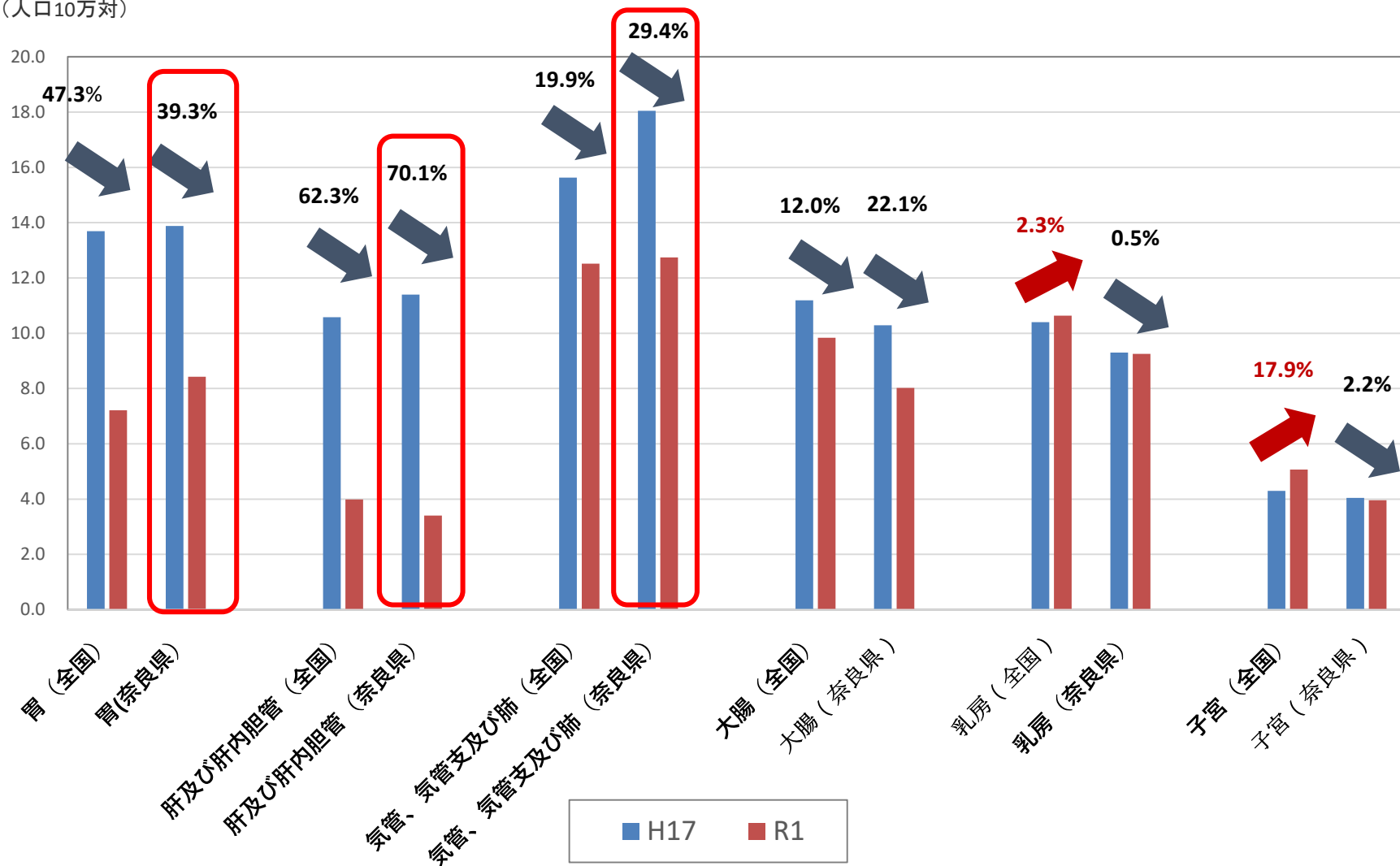
がん種別 75歳未満年齢調整死亡率の推移 (奈良県)

(人口10万対)



がん種別 75歳未満年齢調整死亡率の減少率

(人口10万対)



平成17年から令和元年の14年間の死亡率の減少率を見てみると、
「肝及び肝内胆管」「胃」「気管、気管支及び肺」が大きく改善していた。